



感染拡大防止

3学期がスタートし2週間が経とうとしていますが、その間に皆さんもご存じの通り、急激に新型コロナウイルスの感染が拡大しています。京都市の中学校でも学級閉鎖や学年閉鎖を行っている所が増えてきており、感染が判明した場合の疫学調査やPCR検査にも時間がかかり、結果として登校ができない期間が長引く状況も発生しているようです。そのような現状から京都市教育委員会より以下のような対応により感染拡大を少しでも食い止めるようにと指示が出ています。

・部活動の停止(当面の間、近畿大会や全国大会につながる大会がある場合は活動可)

・感染リスクの高い学習活動の停止

今後の感染状況によってはまん延防止重点措置や緊急事態宣言などが発出される可能性もあり、それによっては学校教育活動の制限がさらに強くなる可能性もあります。また、部活動の停止は今年度3回目となり、部活動を楽しみにしている人や目標をもって一生懸命練習に励んでいる人にとっては気持ちの持ちようが難しい部分もあると思います。しかし、部活動での感染拡大が起きている学校も複数あるような現状ではやむを得ない措置と考えますので、個人個人で考えてトレーニングを行うなどの対応をお願いします。

さらに、これまでも繰り返しお願いしていますが、中学生の感染のほとんどは家庭からのものです。発熱があったり体調がすぐれないときは登校を控えるようにお願いします。また、家族や同居の人でPCR検査を受けたり、濃厚接触者になったりした場合や、発熱・体調不良などがあった場合も登校するのではなく、学校に相談をするということをお願いします。

避難訓練

1月12日(水)避難訓練を行いました。今回の訓練は地震を想定したものです。新聞やテレビでも大きく取り上げられていましたが、1月17日は阪神淡路大震災が発生した日であり、今年で27年が経ちましたが、そういった時に日頃からの備えや避難について考えることが重要だと思います。また、最近でもトンガでの海底火山噴火による津波や大雪などの自然災害が起こっていますし、大阪での放火事件や電車内での放火など、安全安心を脅かすような事件事故も多発しています。そういった対策は学校だけではどうすることもできませんし、まずは自分自身で考え準備すること、そして家族や友人などもしもの場合に備えて話し合っておくことが必要だと思います。今回の避難訓練もそういったきっかけにできればと思います。



小中一貫教育校の検討について②

12月2日のPTA運営委員会で小中一貫教育校の概要等について教育委員会から説明をいただくことができました。小中一貫教育校の検討に必要な知識を得るとともに、将来の洛水中学校区を思い描く機会となりました。

また、1月25日には洛水中学校区3校PTAの代表者が合同で、向島秀蓮小中学校の見学を予定しています。(感染状況によっては中止か延期となります。)引き続き、小中一貫教育校創設の検討はPTA運営委員会が中心に進められますので、ご意見ご希望等がありましたら、お近くの委員または学校までお願いいたします。